

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

## 「地域とともに子供を育む学校支援地域本部事業」(岩手県 久慈市)

### 取組の概要や経緯

地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進し、子供たちの教育活動の充実を目指してきた。

実施校には、地域コーディネーターを配置し（教職員の対応も含む）、学校と地域のボランティア、指導者等との連絡調整及び情報発信を行い、連携体制の推進を図っている。



運動会準備



図書集会  
ボランティアによる読み聞かせ

### 内容

地域コーディネーターが調整を行い、地域や学校の実情に応じ、特色ある活動を展開している。

主な活動内容として、登下校の安全指導・図書室環境整備（掲示づくり、本の修繕、バーコード管理化等）・読み聞かせ・部活動指導・ゲストティーチャーによる学習会・学習の見守り・清掃活動等校内環境整備・学校行事支援などがある。

### ポイント

- ・地域コーディネーター会議を開催し、各学校の情報交換を行っている。
- ・成果チラシを作成し、全戸に配布し情報提供を行っている。

### 成果

- ・地域人材を活かしたゲストティーチャーやボランティアが入ることにより、教育活動の充実につながり、子ども達へよい変化をもたらしている。
- ・ボランティアによる草刈りや図書室の整備等、児童生徒の学習環境が整備につながっている。
- ・地域コーディネーターの配置により、地域と学校の連絡調整等がスムーズに行き、教職員の負担軽減につながっているほか、地域ボランティアの活動が広く知られ、活動が定着してきている。



コーディネーター作成  
ボランティア通信

### 今後の方向性

- ・地域と学校の連携協働を進めていくために、取組の周知を行い、教職員やPTA、地域の方々の理解を深めていく。
- ・地域コーディネーター同士の連携や情報共有のための交流の場を設け、活動の活発化を図っていく。